

天童市民病院における看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する体制 取組計画(令和2年度)

令和2年4月現在の看護部門の勤務状況 1 看護職員数 看護師 常勤48名 看護補助者 10名 2 常勤看護師平均業務時間 週38.75時間
--

【目標】 多職種との役割分担を見直しにより、負担軽減を図る。 看護師業務そのものを見直しにより、業務を軽減し、負担軽減を図る。

分野	現状	令和2年度の目標	目的達成のために必要な手順	達成項目のチェック				備考
				令和2年7月		令和3年3月		
看護業務	・入院患者数の増加に伴い業務多忙	・2階の看護補助者の採用 5名	・看護補助者の募集を継続 5名	<input checked="" type="checkbox"/>	20%	<input checked="" type="checkbox"/>	20%	3名採用も純増1名
	・患者のADL低下があり、介助が必要な患者が増加している	・看護師の業務と看護補助者の業務を明確化	・看護補助者への教育・研修	<input checked="" type="checkbox"/>	50%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	
	・手管理でシステム化されていない非効率な業務がある	・電子カルテ更新にあたり、非効率業務を洗い出し、システム化する	・非効率となっている業務の洗い出しを行い、システム対応に変更する	<input checked="" type="checkbox"/>	50%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	
	・業務が適正化・効率化できておらず、時間外業務が発生している	・業務標準化・適正化プランに基づき標準化・適正化を図る。	・各具体策の検討実施	<input checked="" type="checkbox"/>	20%	<input checked="" type="checkbox"/>	40%	
薬剤管理業務	・病棟患者の服薬指導	・病棟患者の服薬指導の充実(退院処方の服薬指導も含む)	・薬剤師の業務の効率化	<input checked="" type="checkbox"/>	50%	<input checked="" type="checkbox"/>	50%	
	・持参薬の管理煩雑	・患者の持参薬の管理を薬剤部で実施する。	・薬剤師と連携する	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	
検査業務	・外来患者は看護師が血圧測定しており、業務負担となっている。	・患者に自動血圧測定器にて計測してもらう。	・患者に対し説明を繰り返すことにより、計測を定着させる。	<input checked="" type="checkbox"/>	80%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	
栄養管理業務	・食事介助者が増加している。	・食事介助時間の削減と介助の充実	・看護補助者の増加 ・リハビリテーション科との情報共有	<input checked="" type="checkbox"/>	80%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	
入退院支援	・患者の入退院の増加に伴い、退院支援業務の負担が増加	・入退院調整会議での情報共有の充実による負担軽減	・入退院調整会議での情報提供内容の充実	<input checked="" type="checkbox"/>	80%	<input checked="" type="checkbox"/>	90%	
	・情報共有に手間がかかる	・電子カルテ更新にあたり、情報共有しやすいシステムを構築する	・電子カルテ調整会議にて検討する	<input checked="" type="checkbox"/>	50%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	
研修	・医療安全や院内感染防止等の必須研修やその他研修の開催日が限られており、参加する負担がある。	・参加しやすいように機会を増加させる。	・ビデオによる研修機会を設け、複数回開催する。	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	<input checked="" type="checkbox"/>	100%	

天童市民病院における看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する体制 取組計画(令和3年度)

令和3年4月現在の看護部門の勤務状況	
1 看護職員数	看護師 常勤42名 常勤パート6名 非常勤パート3名 看護補助者 10名
2	常勤看護師平均業務時間 週38.75時間

【目標】 多職種との役割分担を見直しにより、負担軽減を図る。 看護師業務そのもの見直しにより、業務を軽減し、負担軽減を図る。
--

分野	現状	令和3年度の目標	目的達成のために必要な手順	達成項目のチェック		備考
				令和3年7月	令和4年3月	
看護業務	・入院患者数の増加に伴い業務多忙	・2階の看護補助者の採用 4名	・看護補助者の募集を継続 4名			
	・患者のADL低下があり、介助が必要な患者が増加している	・看護師の業務と看護補助者の業務を明確化する	・看護補助者への教育・研修を充実する			
	・電子カルテの更新により、手管理の業務がなくなったかどうか確認できていない。	・残っている手管理業務や新たにシステム対応できる業務がないか確認し、システム対応をする	・業務の洗い出しを行い、システム対応とする。			
	・業務が適正化・効率化できておらず、時間外業務が発生している	・業務標準化・適正化プランに基づき標準化・適正化を図り、負担の軽減を図る。	・各具体策の検討と実施			
薬剤管理業務	・病棟患者の服薬指導	・病棟患者の服薬指導の充実(退院処方服薬指導も含む)	・薬剤師の業務の効率化			
	・持参薬の管理	・患者の持参薬の管理を薬剤部で実施する。	・薬剤師と連携する			
検査業務	・外来患者は看護師が血圧測定しており、業務負担となっている。	・患者自身に自動血圧測定器にて計測してもらう。	・患者に対し説明を繰り返すことにより、計測を定着させる(継続実施)			
栄養管理業務	・食事介助者が増加している	・食事介助時間の削減と介助の充実	・看護補助者の増加 ・リハビリテーション科との情報共有			
入退院支援	・患者の入退院の増加に伴い、退院支援業務の負担が増加	・入退院調整会議での情報共有の充実による負担軽減	・入退院調整会議での情報提供内容の充実			
	・休日・夜間に入院できるか、確認に手間取る	・空床の事前把握による入院可能ベッドの周知を行う	・入退院調整会議の内容充実 ・電子カルテへの入院可能ベッドの掲示 ・個室を増加する			
研修	・医療安全や院内感染防止等の必須研修やその他研修の開催日が限られており参加する負担がある	・参加しやすいように機会を増加させる。	・ビデオによる研修機会を設け、複数回開催する(継続実施)			